



全国団地景観サミット2011
UR賃貸住宅「団地景観フォト&スケッチコンテスト」

代表団地作品集

人と人をつなぐ団地 そこにある風景

「おはよう」、「こんにちは」、「ただいま」…。

生き生きとした笑顔とともに交わす言葉に、通い合うお互いを思いやる心。

UR賃貸住宅を舞台に描かれる人々の営みは、次の時代への確かな絆を結び、
世代を超え、時とともに輝きを増す思い出を育んでいきます。

団地の風景に感じた魅力、

生き生きとした地域の暮らしに見つけた感動を表現したい。

そんな作者の想いは、団地の魅力を、団地に暮らす喜びを、

見る人と共有する力として、

それぞれの作品を彩っています。

ごあいさつ

UR賃貸住宅の団地は、日本全国に1700団地以上あります。
その立地や規模、建設年代は様々ですが、それぞれの団地が、
緑豊かな住環境や、団地を舞台にしたいいきとした生活シーンなど、
独自の魅力ある景観を育んでいます。

全国の美しい「団地景観」が一堂に会することを「サミット」になぞらえた
「全国団地景観サミット」は、2008年の第1回開催から、
今年で第4回目を迎えることができました。
2011年は、「人と人をつなぐ団地—そこにある風景—」をテーマに
《UR賃貸住宅 団地景観フォト&スケッチコンテスト》を開催いたしました。

今年も全国から、団地で育まれた様々なふれあいや交流、
美しい季節の思い出や緑あふれる屋外空間など、
団地への想いに溢れた作品とメッセージを多数お寄せいただきました。
多くの皆様からの作品応募による「全国団地景観サミット」へのご参加に、
心より御礼申し上げます。

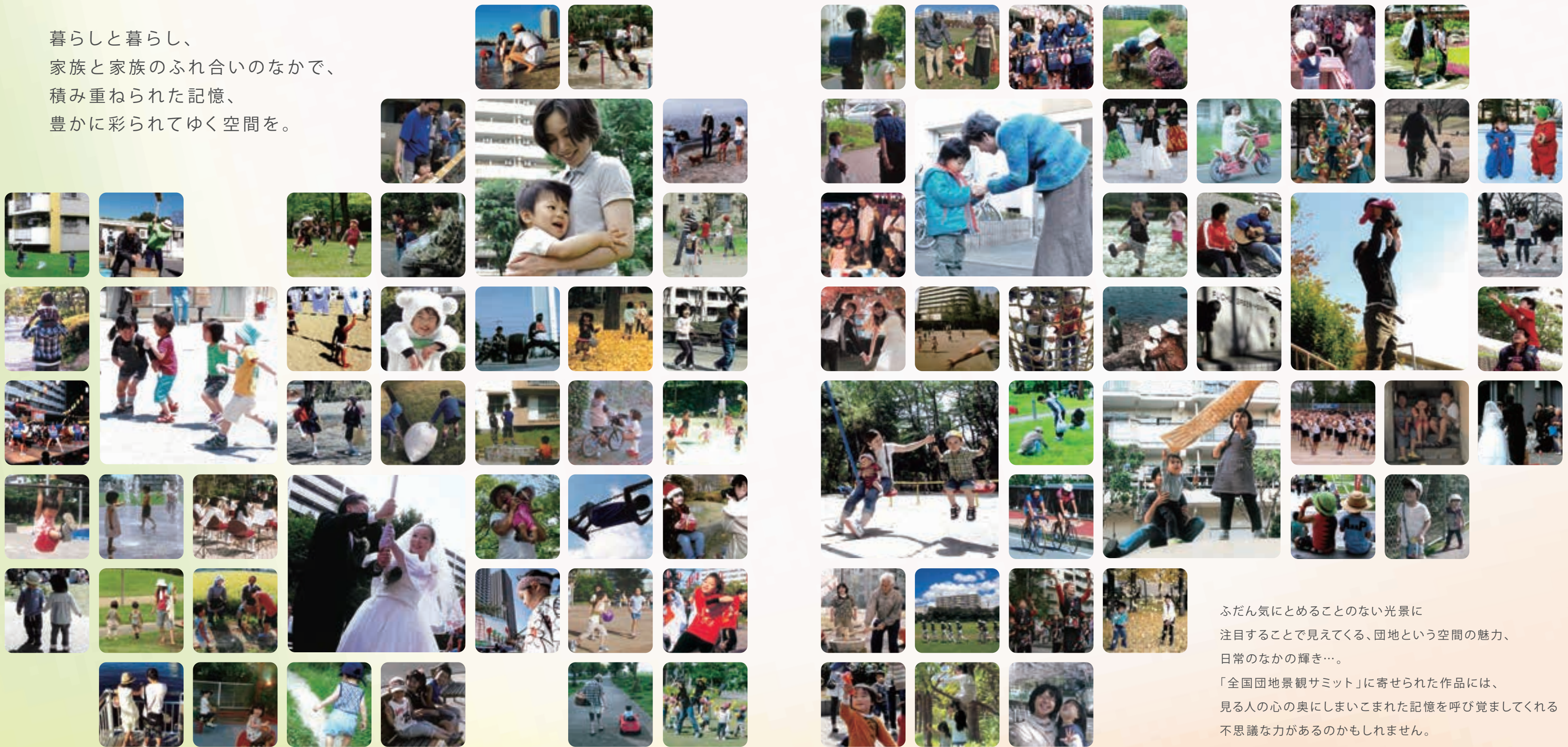
皆様から愛される住環境として、また地域の資産として、
団地の持つ環境や景観をこれからも守り育ててまいります。

目次

02	ごあいさつ
03	目次
06	全国団地景観サミットの意義と代表団地について
08	サミット 2011 代表団地一覧
16	入賞作品
18	●大賞
22	●最優秀賞・優秀賞
34	●審査員賞・キッズ・ジュニア賞
44	●特別賞 ふれあい賞・季節賞 団地景観賞・メッセージ賞・入選
58	審査の現場から・審査員プロフィール
64	全国団地景観サミット 2011 「団地景観フォト & スケッチコンテスト」の概要

-
- 入賞者および有識者審査員の敬称は省略させていただいております。
 - 入賞作品の紹介内容は原則下記の順で掲載しております。作品タイトル/氏名/撮影団地(都道府県)/メッセージ
 - 代表団地一覧は応募作品をトリミング加工の上、掲載しております。

暮らしと暮らし、
家族と家族のふれ合いのなかで、
積み重ねられた記憶、
豊かに彩られてゆく空間を。



ふだん気にとめることのない光景に
注目することで見えてくる、団地という空間の魅力、
日常のなかの輝き…。
「全国団地景観サミット」に寄せられた作品には、
見る人の心の奥にしまいこまれた記憶を呼び覚ましてくれる
不思議な力があるのかもしれない。

全国団地景観サミットの意義と代表団地について

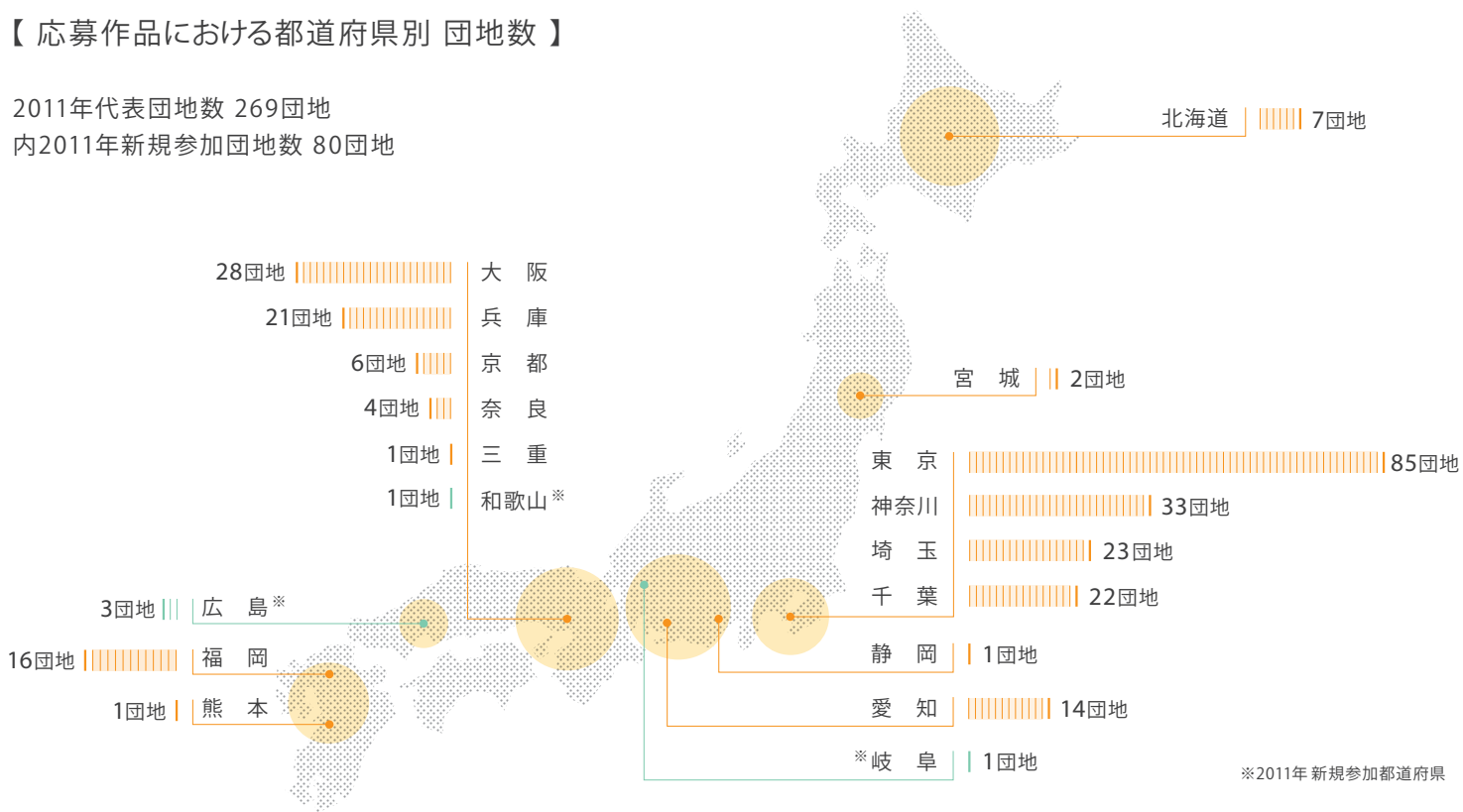


「全国団地景観サミット」は、日本全国に1700以上あるUR都市機構の賃貸住宅の団地それぞれがもつ景観について、その団地の代表者として作品をご応募いただく想定のもとに、全国から寄せられる団地景観の応募作品を通じて、サミットにご参加いただいています。また、このイベントは、審査を行い入賞作品を決定するという過程を踏んではいますが、多くの団地の景観やコミュニティを題材にした作品が、一同に介することを大事にしています。私どもにとっては、それぞれの団地を題材にした作品が、居住者のみならず、地域の方々の手により、

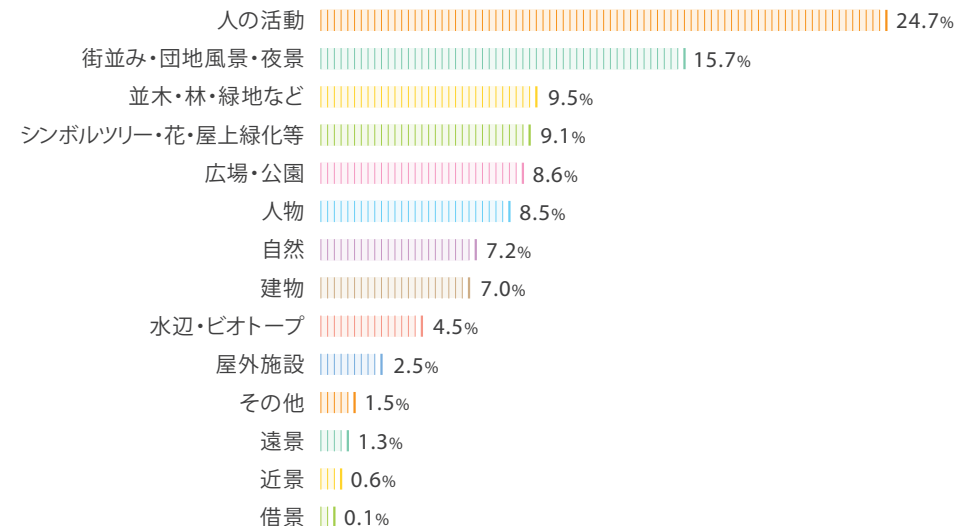
このサミットに集まってくるのが貴重な財産となります。全国団地景観サミット 2011の代表団地作品集をまとめるにあたり、このような開催の意義を多くの皆さんに理解していただくため、昨年に引き続き、北海道から九州までの全国の団地からご応募いただいた代表団地をご紹介します。今年も、今まで応募が無かった多数の団地から新たにご参加いただきました。小さなスペースではありますが、改めてそれぞれの団地の代表となる作品を見ていただくことで、地域らしさや個々の団地固有の魅力に触れていただきたいと思います。

【 応募作品における都道府県別 団地数 】

2011年代表団地数 269団地
内2011年新規参加団地数 80団地



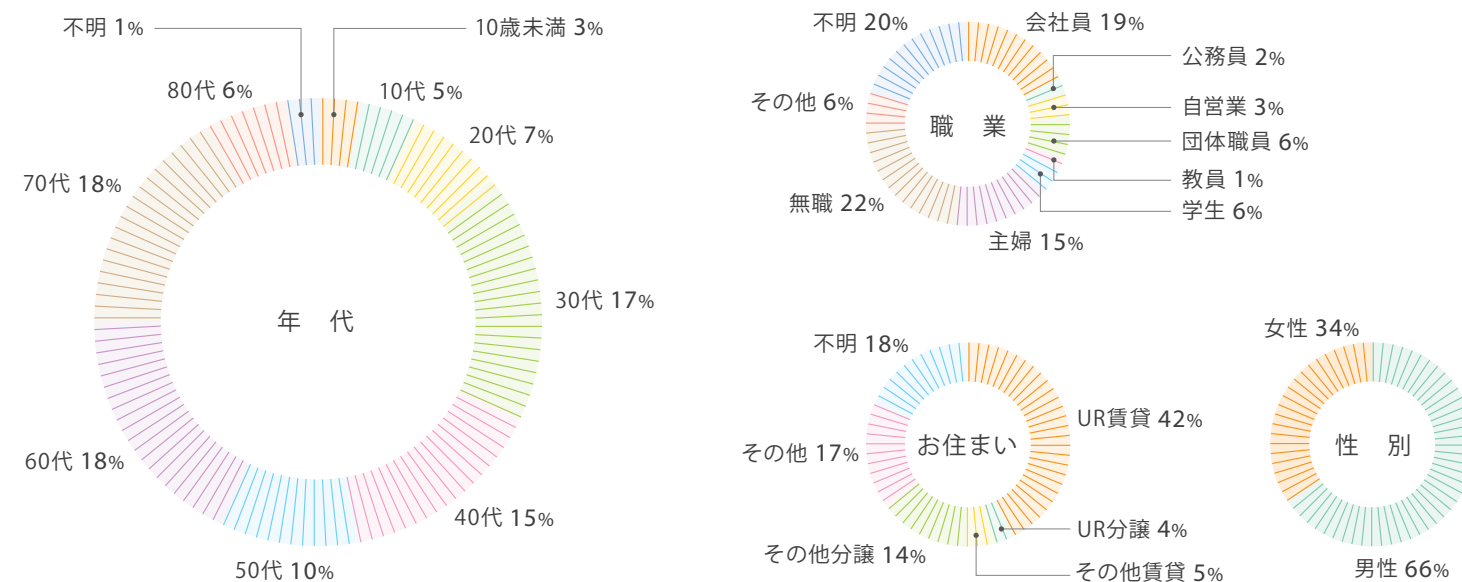
【 応募作品の構成要素 】 被写体の分析



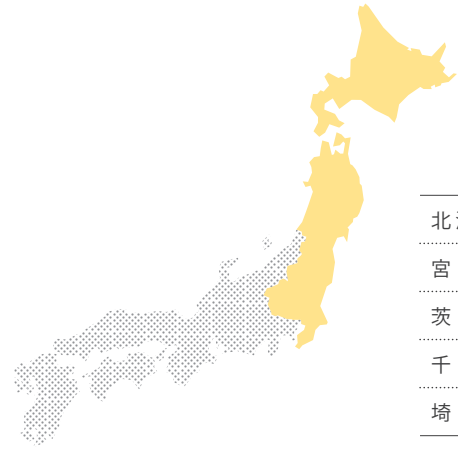
【 応募が多かった団地 】

シーリアお台場	東京
ヌーヴェル赤羽台・赤羽台	東京
多摩平の森	東京
武庫川	兵庫
神代	東京
幸手	埼玉
高島平	東京
富雄	奈良
コンフォールさがみ南	神奈川
総持寺	大阪
鶴が台	神奈川
徳力	福岡
花見川	千葉
水草	愛知
光ヶ丘パークタウンゆりの木通り北	東京
東雲キャナルコート CODAN	東京

【 応募者の属性 】

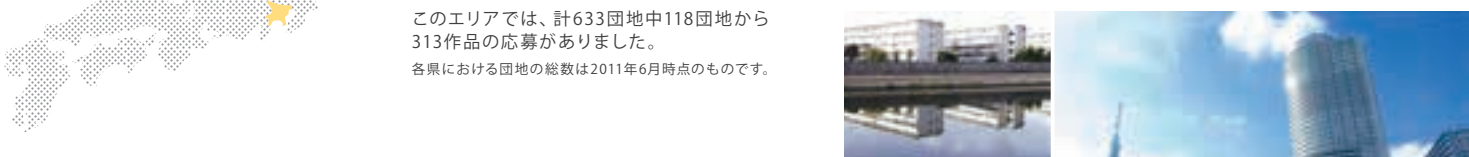
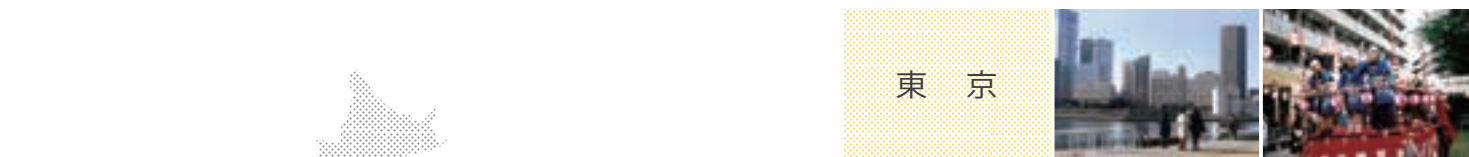


全国団地景観サミット2011 代表団地一覧



	応募団地数	団地総数
北海道	7団地	42団地
宮城	2団地	16団地
茨城	0団地	17団地
千葉	22団地	115団地
埼玉	23団地	154団地

このエリアでは、計344団地中54団地から120作品の応募がありました。
各県における団地の総数は2011年6月時点のものです。



	応募団地数	団地総数
東京	85団地	422団地
神奈川	33団地	211団地

このエリアでは、計633団地中118団地から313作品の応募がありました。
各県における団地の総数は2011年6月時点のものです。



金町駅前 北砂五丁目 希望ヶ丘

小山田桜台 経堂赤堤通り 清瀬旭が丘 国立富士見台 グリーンヒル八王子南



グリーンタウン美住一番街 グリーンヒルズ東久留米 栗原 けやき台 小島町二丁目



小平 東雲キャナルコートCODAN シティコート二子玉川 シティハイツ日野旭が丘 シャレール西ヶ原 シーリアお台場



神代 成城通りパークウエスト 高島平

品川八潮パークタウン潮路中央 竹の塚第一 立川一番町東 立川若葉町 立川幸町



多摩平の森 多摩ニュータウンコリナス長池 多摩ニュータウン豊ヶ丘

シャレール荻窪 多摩ニュータウン永山 多摩ニュータウンビューコート若葉台 天王洲ビュータワー 西国分寺ゆかり参番街



豊洲シエルタワー にしき平和台 ヌーヴェル赤羽台

ハートアイランド新田 東綾瀬 パークタウン東綾瀬 東久留米 日の出町



光が丘パークタウン大通り中央 光が丘パークタウン大通り南 光が丘パークタウン いちよう通り八番街

光が丘パークタウンプロムナード十番街 ひばりが丘 ひばりが丘パークヒルズ 府中グリーンハイツ フレール西経堂



プラザシティ立川 プラザ新小金井 プロムナード荻窪 ベイシティ晴海スカイリンクタワー 三鷹台

ムーンアイランドタワー/アーバンライフ月島駅前 武蔵野緑町パークタウン リバーシティ21イーストタワーズ/イーストタワーズII むつみ台 牟礼 リバーピア吾妻橋ライフタワー



ライフタウン国領 芦花公園 光ヶ丘パークタウンゆりの木通り北 多摩ニュータウン諏訪一丁目ハイツ シティコート目黒

飯島 えびな 海岸通 金沢シーサイドタウン 並木一丁目第一 港北ニュータウン コンフォール城山の丘 港北ニュータウンメゾンふじのき台 小杉御殿

神奈川



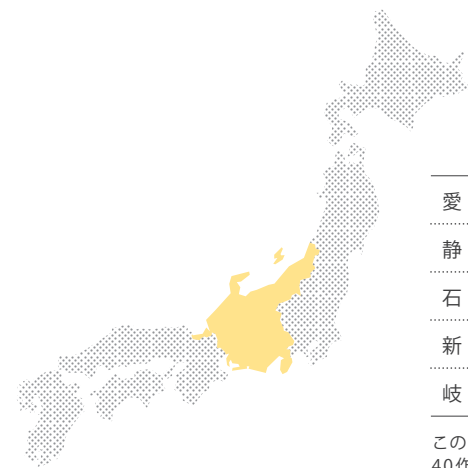
シャレル海岸通
コンフォール上倉田
コンフォールさがみ南
コンフォール滝ノ上
コンフォール明神台
相模台
左近山
コンフォール藤沢



サンラフレ百合ヶ丘
善行
辻堂
鶴が台
奈良北
西菅田
西ひかりが丘



十日市場ヒルタウンコンフォール十日市場
橋本四丁目
プラザシティ相模大野
プロムナード矢部
ベイシティ本牧南
南神大寺
モアレ山田町
洋光台北
ロビーシティ相模大野五番街
コンフォール横須賀本町



	応募団地数	団地総数
愛知	14団地	124団地
静岡	1団地	7団地
石川	0団地	2団地
新潟	0団地	2団地
岐阜	1団地	2団地

このエリアでは、計137団地中16団地から40作品の応募がありました。
各県における団地の総数は2011年6月時点のものです。



アーバンラフレ鳴海
アーバンラフレ星ヶ丘



岩倉



岩成台
アーバンラフレ稲沢



知立
高座台
江南
コンフォール城山
白鳥パークハイツ大宝
中央台
鳴子
藤山台



水草
浜松駅南
緑苑東



	応募団地数	団地総数
三重	1団地	6団地
滋賀	0団地	4団地
京都	6団地	50団地
大阪	28団地	224団地
兵庫	21団地	124団地
奈良	4団地	24団地

	応募団地数	団地総数
山口	0団地	7団地
和歌山	1団地	3団地
岡山	0団地	1団地
広島	3団地	12団地
香川	0団地	1団地
高知	0団地	1団地

このエリアでは、計457団地中64団地から147作品の応募がありました。
各県における団地の総数は2011年6月時点のものです。



三重
菅川
京都
男山
久御山



花園
松ノ木町
洛西福西公園
洛西竹の里



新金岡第一 アミティ中宮北町 アルビス緑丘 北緑丘



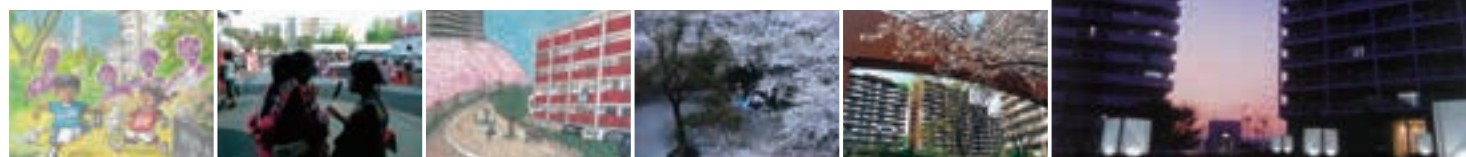
光明池駅前 光明台 金剛 サンラフレ出来島 釈尊寺第二 サンヴァリエ春日丘



泉北鴨谷台三丁 泉北城山台二丁 千里竹見台 総持寺 玉串西



富田 玉串元町 千島 中百舌鳥公園



藤沢台第三 箕面粟生第一、第三 リバーサイドさぎす 高見フローラルタウン六番街 桜宮リバーシティ中央 パークシティふれあいのまち



泉北原山台一丁 北堀江 HAT神戸・灘の浜 HAT神戸・脇の浜 明石舞子 アクティ学園西町



アミティ学園西町 アルビス寺本 落合 芦屋浜 上高丸



キャナルタウンウエスト サンラフレ明石 新長田駅前 中山五月台 ハーバーランド神戸駅前 浜甲子園



浜甲子園さくら街 フレール新開地6丁目 武庫川 横尾 ルゼフィール井吹台



鈴蘭台第一 鶴舞 富雄 平城右京 平城左京



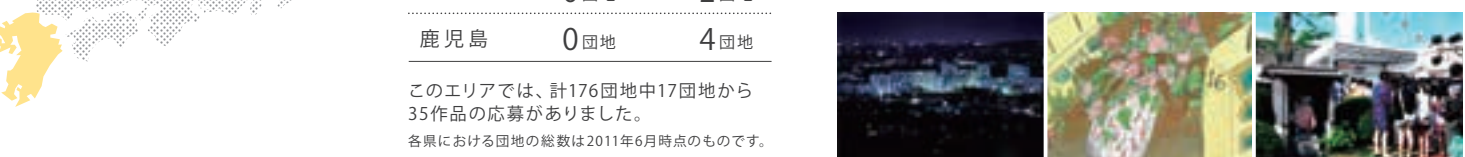
鳴滝 白島北町 鈴が峰第五、第六



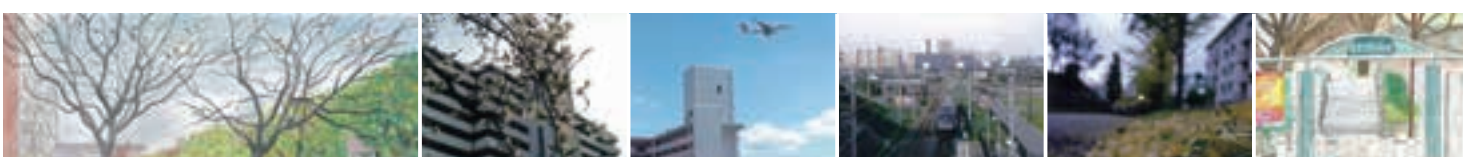
アーベインピオ春日 アーベインリビエ清水



アーベインルネス大橋 荒江 梅ノ木



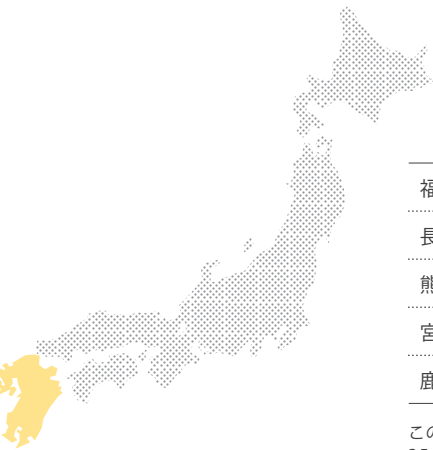
四箇田 下大和 徳力



梅光園 箱崎 花鶴丘 日の里 もりつね



志徳 金鷲 コーポ大橋南 武蔵ヶ丘



	応募団地数	団地総数
福 岡	16団地	166団地
長 崎	0団地	1団地
熊 本	1団地	3団地
宮 崎	0団地	2団地
鹿 児 島	0団地	4団地

このエリアでは、計176団地中17団地から35作品の応募がありました。
各県における団地の総数は2011年6月時点のものです。



アーベインピオ春日 アーベインリビエ清水



アーベインルネス大橋 荒江 梅ノ木



四箇田 下大和 徳力



梅光園 箱崎 花鶴丘 日の里 もりつね



志徳 金鷲 コーポ大橋南 武蔵ヶ丘

熊 本

入賞作品

団地ならではのふれあい、確かなコミュニティ…。

「全国団地景観サミット2011」では、

「人と人をつなぐ団地—そこにある風景—」をテーマに作品を募りました。

写真、スケッチ合わせて683点の応募作品から

ふれあい、団地景観、四季など

さまざまな視点で選びだされた入賞作品には

それぞれの作者が育んできた団地への想いと、

人と人との交流へのぬくもりある視線を

感じることができるはずです。

フォトコンテスト

手伝いたいの 田中 由香

西上尾第二（埼玉県）

パンパンに膨らんだ落ち葉の袋。この秋の収穫です。こんなところに幼児と出くわしたら、手伝いたい攻撃にあってしまうのです。しかし、大きな溝を渡らないと掃除のおじさんの方へ行けません。自分の体ほどある袋を協力して運ぶ姿と、それをじっくり待ってくれるおじさん。ゆるやかな時間です。

【審査員からのコメント】

日常のとある一瞬を切り撮った写真ですが、この団地でのコミュニティの一幕を良く写し出したものだと思います。子供は意外と親の知らないところで、周辺住民か、関係者とコミュニケーションをしっかりとってたりしてますね。
〈本城 直季〉



スケッチコンテスト

冬の朝 朝岡 満子

辻堂（神奈川県）

「待つて」と女の子がゴミ回収車を追って来る。共稼ぎの親の手伝いでしょうか、回収のお兄さんも「アイヨ」と心よく受け取ってくれました。その様を見た富士山と、松下政経塾の塔が云っている様には私には思えました。「君達偉いねえ。その気持ちを忘れずに真っすぐ真白に育って、ドジョウみたいに泥水を飲んでも、ねじれない日本にね。」

【審査員からのコメント】

何とも不思議な魅力に溢れた作品です。独特の色づかい、デフォルメされた建築や車、シンボリックな富士山、その中で妙にリアルに描かれているゴミ収集の光景。これらが生み出す絶妙なバランスが逆に団地での日常の豊かさ、そこに向けられた作者の熱い想いを伝えています。〈千葉 学〉



・フォト 最優秀賞
優秀賞

・スケッチ 最優秀賞
優秀賞

人がいる、家族がいる、暮らしがある。

ともすれば、日々の暮らしのなかで忘れてしまいがちな、
人と人とのふれあいを、暮らすことの喜びを表現したい。

団地ならではの暮らし、

団地に住まうことの楽しさを描いた作品には、

そんな想いが込められています。



最優秀賞

フォトコンテスト

黎明 長 吉秀

四箇田（福岡県）

私は、佐賀県の唐津市によく行きます。夜、福岡に帰る時、日向峠を越えて帰ります。福岡市の明りが一番最初に見えるのが四箇田団地の明りです。団地の明りが印象的なので朝焼けの中の団地を撮ってみました。

【審査員からのコメント】

遠景の団地の美しさを宝物のように見せてくれた一品。これだけの遠景の作品は、はじめてである。応募されたもう一点の夜景の作品を含め、幽玄な世界へとみるものをいざなう。紫雲の中に白く光る住棟が浮き彫りとなり美しい。こんな景色の見える場所をみつけて下さって感謝。〈池邊 このみ〉



最優秀賞

スケッチコンテスト

みどりあふれる我が団地 正田 芳枝

小山田桜台（東京都）

東京足立1丁目からコンクリート自作(デ)の家を売り、こちらへ引越しました。3年と7ヶ月、気管支炎や、ぜんそくが快方。東京の都心(事務所千代田区)は空気がこわくて住めないです。

【審査員からのコメント】

足立区の自作のコンクリート住宅から、緑あふれる小山田桜台に移ってきて、心身共に健康になった喜びが、あふれている作品である。美しい緑と色とりどりの花々が、作者の心身と癒し、団地の魅力として伝わってくる。作者の力量が十分発揮された風格のある作品である。〈渡邊 このみ〉



優秀賞

フォトコンテスト

団地の盛春(せいしゅん) 三原 有次

立川一番町東 (東京都)

団地広場周辺の木々が、一斉に芽吹き咲きそろった一瞬を切り取りました。

【審査員からのコメント】

春のうらかな日の一瞬を、まさに“切りとった”場面に心を奪われました。団地にもやわらかい日があたってとてもきれいです。何か新しい事を始められそうな気持ちになりました。〈松田 妙子〉



優秀賞

フォトコンテスト

金木犀 岩田 二郎

赤羽台 (東京都)

孫が2才の頃、この大きな金木犀の下で、どちらの方が知らない年上の女の子の兔を抱いていたのを見て兔を抱こうとした。その女の子がどうぞと云って抱かせてくれた時の孫の笑顔は忘れることがない。卯年の孫はもう25才のOL。金木犀は毎年芳しい香り。今年の金木犀は一層金色が鮮やかだ。

【審査員からのコメント】

あざやかな金木犀のオレンジにぬけるような空が印象的。メッセージにある孫との思い出を読んで、この金木犀も同じ月日をすこし、毎年花を咲かせてきたのだらうとしみじみしてしまいました。〈さかた しげゆき〉



優秀賞

フォトコンテスト

バレンタイン雪景色

大原 孝子

平城右京（奈良県）

奈良市内が珍しく雪景色になった早朝。登校したばかりの高校生の娘からtel。「下見てー」っと。玄関を出ると団地の木々は真っ白。下を見ると道路に娘からのメッセージ。轍がバレンタインにぴったりの形。厳寒の朝、心がほっこり温かくなったひととき。

【審査員からのコメント】

人が全く写っていないのに、家族の愛情や団地での生活の楽しさがじんわりと伝わってくる美しい作品です。恐らく4階あたりから撮ったのでしょうか。この、団地だからこそ見つけられた風景、団地だからこそできた母と娘の仲睦まじいコミュニケーション、見ていて心が暖かくなりました。〈千葉 学〉



優秀賞

スケッチコンテスト

楽しや、今年も団地の盆踊り

大久保 三男

小平（東京都）

恒例の小平団地夏祭り。今年ではや26回。涼しさもあって例年より人出多く、夕暮となれば圧巻の盆踊り。矢倉太鼓の響きに乗って、老いも若きも身振り、手振り、輪になって踊る。見るも楽し、踊ればなお楽し。大木に育った榊林は漆黒の背景を成し、葉間より住いの灯りを洩らし、祭提灯の明りを浮出し、幻想のひと時を醸す。

【審査員からのコメント】

老若男女が揃うお祭りはだんだん少なくなってきたこの時代に、コミュニティのパワーを感じられました。まだまだ小平は元気！見上げると住み慣れた団地と榊林が見守ってくれていて、大きな安心感に包まれます。〈松田 妙子〉



優秀賞

スケッチコンテスト

子ども広場は楽しいな

藤波 喜競

西大和（埼玉県）

ママたちが子どもたちを遊ばせている。安全、安心な子ども広場なのだ。みんなノビノビとしている団地内ならではの広場です。

【審査員からのコメント】

まず、目にとびこんできたのが、色のポップさ。子供たちののびのびと楽しく遊んでいる様子が色づかいとあいまって、とても良く伝わってくる。壁画のライオンも、かわいく描けている。すごく目立つ良い絵だと思いました。

〈さかた しげゆき〉



優秀賞

スケッチコンテスト

老いも若きも

福井 俊二

北坂戸（埼玉県）

駅から1分、郵便局、銀行、市役所出張所、交番、スーパーと日常生活に於いてこんなに機能的な団地はありません。老いも若きも誰でもが安心して暮らせるのが嬉しい。ちょっと（いいえ、かなり）古いけど、お掃除も行き届いており、盆踊りやフリーマーケットなど、みんなが笑顔になる北坂戸団地の光景です。

【審査員からのコメント】

団地での生活が一目で伝わってきました。お婆ちゃんが力強く手押し車を押ししている姿や、団地の中心に向かって走っている自転車が、その背後にいる鑑賞者を団地の世界に誘っているようでした。〈本城 直季〉

・フォト スケッチ

審査員賞 キッズ・ジュニア賞

かけがえない友人に向ける視線、
四季折々の表情を見せてくれる公園の緑を慈しむ想い。
そんな自分だけの感情を、せいっぱい伝えるために、
カメラを持ち、絵筆を握る…。
だからこそ、見る人は、言葉にはできない感動を
味わうことができるに違いありません。



審査員賞

太鼓の特訓

竹内 正成

総持寺（大阪府）

本番の当日を待つ。8月6日の団地夏祭りと盆踊りを二日前に給水塔下での小中学生の男女ら指導者の見守る前での太鼓打ちの特訓。どの子供達も交代で大太鼓、小太鼓を力いっぱいバチを振り汗を流し乍らの奮闘。周辺に響く太鼓の音が二日後グランドでの本番盆踊りに一打一打と近づいている。みんなよく頑張っている処を、毎年撮影する私である。

【審査員からのコメント】

子供達の背後の給水塔に書かれた絵と太鼓打ちを練習している子供達が一枚の写真の中にうまく同化しています。子供達の表情を良く見ると真剣に練習していますが、後ろの絵のせいか、とても楽しげに見えます。〈本城 直季〉



審査員賞

夏の思い出

前田 晋平

常盤平（千葉県）

歴史を感じるスターハウス、贅沢な屋外の緑の空間。その中で虫取りを楽しむ兄弟。UR賃貸住宅ならではの素敵な風景だと思います。この兄弟にとって、きっと夏の素敵な思い出になったことでしょう。

【審査員からのコメント】

どこにでもありそうな見慣れた団地と足元に広がる緑の風景。その何気ない空間も、子供たちにとってはきっとたくさんの虫に出会うことのできる宇宙のような広がりを持つ場所なのでしょう。そこでの息づかいが聞こえてきそうな魅力的な写真です。〈千葉 学〉



審査員賞

思いっきり遊んで!! 山本 愛子

中山五月台（兵庫県）

宝塚のお山のてっぺんに有るこの団地。一番南に面したこの小運動場は大阪平野が一望出来、夜にはキラキラと美しい夜景が目奪う。時折、ボール遊びに興じる少年達の声が心地良い。夏には昔懐かし「夏祭り」が賑わいをみせ大活躍。外遊びが贅沢となってしまった昨今、『思いっきり遊んで!!』とこの壁画が言っていた。

【審査員からのコメント】

昔からある団地の公園の壁の絵には哀愁がただよう。はじめは単純に「壁の絵」がおもしろいと思っただけだったが、じっくり見るとその公園であった出来事が頭に浮かんできて、とても好きな写真になりました。〈さかたしげゆき〉



審査員賞

子どもはいいねえ 阿部 有希

光が丘パークタウンゆりの木通り北（東京都）

やっと降った雪が嬉しくて朝早くに家を出ました。団地の中にある病院の先生やスタッフの方たちが雪かきをしながら、「雪が降ると子どもだけは大喜びだねえ!」と笑っていました。患者さんたちが転ばないようにと一生懸命作業している傍らで、登園前のひと時を楽しませてもらいました。

【審査員からのコメント】

雪が降った!! こんなに喜んでくれるなんて、雪も降りがいがありますね。子どもの気持ちにこたえて、朝早く家を出てくれたお母さんも、ステキ。後方で団地に向かって黙々と雪かきしている大人との対比がおもしろかったです。〈松田 妙子〉



審査員賞

思い出とともに 一夜の団地 — 中島 康貴

プロムナード荻窪（東京都）

この1月に6年近くお世話になったプロムナード荻窪から引っ越します。樹齡がかなりあるヒマラヤスギと1号棟を臨める景色を、広々とした1号棟のプロムナード側から、ちょうどちぎれ雲が綺麗な晩に、お世話になったお礼と記念にと写真を撮りました。隣には原っぱ公園もあり、緑の多いすてきな団地でした。

【審査員からのコメント】

思い出深い団地をあとにする作者の団地への愛情が感じられる。夜空に黒々とたたずむヒマラヤ杉と、下から見上げるアングルでとらえた白い住棟のコントラストの構図が非常に効果的だ。夜空に広がる雲が背景となった美しい絵画のような作品である。団地への寂寥の思いが伝わってくる。〈池邊 このみ〉



キッズ・ジュニア賞

夕ばえの空 桜井 莉良

東綾瀬（東京都）

この団地で生まれました。梅雨の晴れ間の夕方に空が輝いていたので、窓を開けて撮りました。建替え前の思い出です。

【審査員からのコメント】

生まれ育った団地が建て替えられることを14才でどう受けとめるんだらう。切ない気持ちでこの夕暮れのワンシーンに思いを寄せました。14才の「今、ここ」が、くっきりと映し出されているようです。〈松田 妙子〉



キッズ・ジュニア賞

団地と川と船 安間 伊吹

白島北町（広島県）

僕は夜の建物を描きました。川には船が浮かんでいます。大きな川のむこうに明かりがついている建物があって、夜は電気がついてとてもきれいです。

【審査員からのコメント】

きっと夜の団地は大きな船に見えたのでしょうか。たくさんの様々な大きさをした明るい窓は、それだけでたくさんの夢を乗せて進む船のようで、見ていて楽しくなります。そこに連なる小さな船も屋上のアンテナも可愛くて、皆で行進しているみたいです。これからもたくさん楽しい絵を描いて欲しいと思います。〈千葉 学〉



キッズ・ジュニア賞

ぼくのおきにいり 河村 勇佑

光明池駅前（大阪府）

通称チョコマン(チョコレートマンション)を、駅を挟んだ体育館の方から眺めると、順々に色づく紅葉の木々と電車とのコラボレーションが素敵です。親子でのんびり眺めると幸せな気分になれるこの光景をたくさんの笑顔と一緒に描きました。

【審査員からのコメント】

団地に住んでいる人々が、とてもいきいきと描けている。ひと部屋ひと部屋にそれぞれ住んでいる人の笑顔があり、見ているこちらも楽しくなってくる。こんな風景のある場所に住めてうらやましくなりました。〈さかた しげゆき〉



キッズ・ジュニア賞

花と緑に囲まれた住宅 安間 隼斗

白島北町（広島県）

白島北町の住宅は、広島城からも近く、団地のまわりには緑、裏手には川も流れ自然に囲まれています。都市部にも近く交通の便も良いところです。この美しい景観がいつまでも続いてほしいです。

【審査員からのコメント】

団地のまわりの花や緑、道路も賑やかで、さらに団地もそれに負けて劣らずはなやかで良かったです。絵全体が周って動き出しそうで、僕もここに住んでみたいと思われました。〈本城 直季〉



キッズ・ジュニア賞

いつもピカピカ アーバンラフレ 佐藤 萌和

アーバンラフレ星ヶ丘（愛知県）

アーバンラフレには、いつもきれいにおそうじしてくれる方達があります。いつも笑顔で一生懸命働いているので、すごいと思います。暑い日も寒い日も雨の日も風の日も、色々な所をピカピカにして、皆の笑顔を作ってくれる人だと思います。私達を幸せにしてくれるおそうじの人を描きました。

【審査員からのコメント】

おそうじをしてくれるクリーンメイトさんを題材にした素敵な作品。メイトさんの使っている何でもはっている魔法の箱?の中味までが詳細に画かれている。団地をいつもピカピカにしてくれる人に感謝しつつ、それを見守る笑顔でいる自分達がいっているのがとてもよい。団地を支える働く人に焦点をあててくれた気持ちが嬉しい。〈池邊 このみ〉

• フォト スケッチ 特別賞

ふれあい賞 季節賞

団地景観賞 メッセージ賞 入選

例えば、季節の移り変わりが描き出す驚き。

例えば、キャンバスの中に描かれた断片から広がる世界。

ここに集められた作品には、

団地という場でしか見つけることのできない

住まう人同士の、時に住まう人と訪れる人との交流、

家族という確かな絆が、

作者それぞれの団地への想いとして息づいています。



ふれあい賞

夏祭り景観

石川 忠男

奈良北（神奈川県）

団地は、毎年、小田急学園奈良自治会と合同夏祭りを開催する。快晴に恵まれたときの中高層通路からの見晴らしは素晴らしい。西側に丹沢の山波が団地の棟越しに遠望できる。北側には玉川学園を擁する、その昔別荘地であった、屋根の連なりが薄暮の中に佇む。祭りはクライマックスを迎える。



ふれあい賞

そっとのぞいてみてごらん。

高山 清茂

ハートアイランド新田（東京都）

待ちに待った水辺体験デー。この日は、大人も子供も入り乱れて、一心不乱に水辺の生き物を探します。かつては、ジャングルのようだった河川敷も、とてもきれいな水辺広場になりました。



ふれあい賞

夕暮れの団地商店街

古田 寿将

新座（埼玉県）

結婚前に妻が住んでおり度々訪れました。結婚後、現在他のUR賃貸住宅に引越しましたが、今でもたまにこの団地前を通ることがあり、団地商店街の雰囲気懐かしくなります。そこには夕飯の買出しなどで行き交う団地の人々のコミュニティがありました。



ふれあい賞

新しい台地/初めての夏祭り

高橋 好和

ヌーヴェル赤羽台（東京都）

新しい台地での初めての夏祭り。赤羽台団地からヌーヴェル赤羽台となった今も、変わらず元気で活気のある祭りだ。盆おどりや出店などが、このイチョウ通りの上でにぎやかに開催されている。これからもずっと続いていって欲しい。



ふれあい賞

あそびの陣地

中田 誠

ヌーヴェル赤羽台（東京都）

赤羽台団地の夏まつりの午後、いつもの仲間がいつもの場所に集って、新たな『えもの』の話し合いを続けます。幼い頃、だれもが持っていた私のお気に入りの場所。



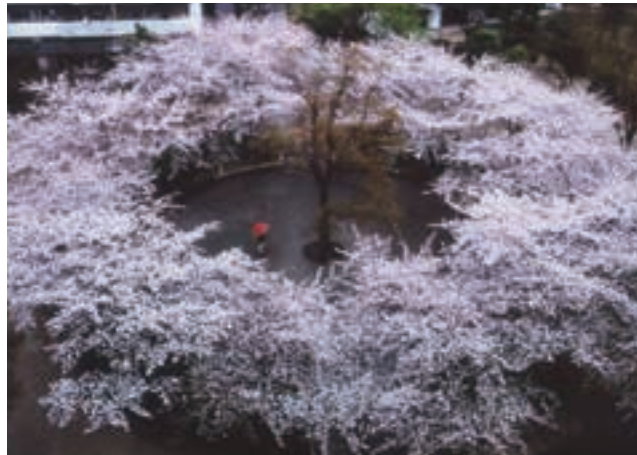
ふれあい賞

シャボン玉飛んだ

田中 和夫

プロムナード矢部（神奈川県）

電池で動くシャボン玉を作るオモチャからどンドン出てくるシャボン玉。出しながら走りまわってシャボン玉だらけ。春風がそれを遠くへと運んでいった。子供達は追いかけたけど追いつかなかった。



季節賞

春爛漫 福田 善行

高見フローラルタウン六番街（大阪府）

UR22号棟の庭に桜が丸くさいていて、雨がふっている時に赤い傘をさして通る人と美しき風景にあった。



季節賞

夏雲 大平 孝行

富雄（奈良県）

富雄団地北町のバス停にいるとき、雲の形がおもしろいので、こんな写真も楽しいかと。



季節賞

一枚の絵 榎 知子

新金岡第一（大阪府）

いろいろな色に囲まれた秋の美しさには、毎年感動します。そんな中、ピロティを通して見る紅葉は、額に入った一枚の絵のようで、また格別です。



季節賞

散歩道 武元 清親

グリーンタウン美住一番街（東京都）

大きなもみじの並木と枯葉が積った歩道。都会の団地でありながら、どこかのどかな田舎の風景を連想します。



季節賞

黄金色に輝く銀杏並木 村瀬 広導

小平（東京都）

12月上旬の日曜日、高度低く差し込む太陽の光が建物越しに団地街路の銀杏並木に降り注ぐ。木々は黄金色に輝き、寒さに震える人々の心に温かさと安らぎを与えてくれる。



季節賞

雪の夜 井上 英司

にしき平和台（東京都）

東京にも冬はやってくる。そして、その白い彼女は突然やってくる。翌日にはニュースになるくらいいたずらな妖精だけど、今夜は静かで美しい光景を微笑ましく見守ってあげたいものだ。



団地景観賞

ミナトヨコハマの夕暮れ

荒木 広子

海岸通、シャレール海岸通（神奈川県）

手を伸ばせばとどきそうな美しいミナトヨコハマの夜景。そんな風景の中に建つ海岸通団地からバトンタッチされるシャレール海岸通。団地に灯りがともると、暖かい家族団らんが聞こえてきて、ミナトヨコハマの夕暮れの風景をこれから更に彩ります。



団地景観賞

5年後も現在(いま)のまま

広沢 武

湖北台（千葉県）

悪天候の日を除き、ほぼ毎朝、アンチエイジングを目指し元気に公園を3周回(約5km)しているのは、ウォーキングクラブの面々。半数は団地の住民であり、料理・旅行・グルメなどのおしゃべりをしながら、今朝も楽しく歩いています。



団地景観賞

スターハウス三重層

西尾 博美

千里竹見台（大阪府）

重厚な建物が居並ぶ千里ニュータウン内において一際目立つ。南千里駅前に聳える高層の「スターハウス群」。今となれば伝統的建築物としての風貌が十分感じられる。是非残したい建物である。



団地景観賞

朝の彩り

村上 俊浩

鈴が峰第五、第六（広島県）

世界遺産（厳島神社）のある宮島をバックに、朝日に映える鈴が峰団地の美しい光景にうっとり。やわらかく暖かな彩りで、冬の寒さもつい忘れてしまいます。いろいろな角度から団地の景観美を日々楽しませてもらっています。



団地景観賞

知らなかった桜の花道

長谷川 恵一

大谷田一丁目（東京都）

葛西用水沿いの道を桜の花を眺めながら、撮影ポイントを探して偶然登った足立区大谷田銀河の塔。そこから北を臨んでファインダーを覗くと、知らなかった桜の花道が見つかりました。その桜の花道の下を通る道から日立の工場を見、大谷田団地へと変貌する様を見てきたのですが、何時の間にか素敵な道も出ていました。



団地景観賞

水の都

呉 行弼

リバーシティ21イースト Towers、イースト Towers II（東京都）

公園の池に映りこんだ夏の青空が、目を凝らすとモザイク様の空に変化して、一緒に映りこんだ高層団地の背景となってる一枚の油絵のようになってきました。東京は江戸、発達した水上交通が人々の暮らしと文化を支えてきました。今は佃島、まさに水の都です。

優しさ行き交う散歩道

この通りは五輪団地の脇にある
「ナナカマド通り」と呼ばれる通りです。
いつ来ても、様々な人たちが
暖かい物語を運びながら通っていく様に感じます。
私はこの通りが大好きです。



メッセージ賞

山内 佳子 五輪（北海道）

大空へ

ブランコで遊ぶ
子供の未来への希望につながるような
大空への願いを感じました。



メッセージ賞

日野 房男 幸手（埼玉県）

新長田風景

阪神淡路大震災後に
復興のシンボルとして建設された鉄人28号。
JR新長田駅、大丸百貨店、
長田商店街に囲まれたUR新長田団地を
鉄人広場から個性ある新長田風景として
スケッチをしました。



メッセージ賞

浜岡 健一郎 新長田駅前（兵庫県）

歴史を感じるもの

同じ団地でも道路を挟んだ地区は建替え中。
この風景も見れなくなる日が近づいている…



メッセージ賞

宮迫 裕介 浜甲子園（兵庫県）

ママ見て～!!

補助なし自転車が乗れるようになり、
自転車が楽しくて楽しくてうれしくて!!
子供の自転車に付き合い、
ママはカメラの練習。
どっちもあきずによくくりかえした夏の日の一日。
団地内は車が入ってこないで、
安心して遊べるいい場所です。



メッセージ賞

小池 さとみ 立川一番町東（東京都）

幸せな二人

府中グリーンハイツは京王線府中駅、
JR 武蔵野線北府中駅から共に徒歩十数分の
大変アクセスの良い所にあり、
大国魂神社や国分寺跡など緑多く
歴史と文化に包まれた静かな環境の団地です。
この度、この団地で生まれ育った
一人のお嬢さんが遠方に嫁いで行きます。
紅葉の綺麗な中庭で彼と二人、
幸せのポーズを見せてくれました。



メッセージ賞

原田 恵一 府中グリーンハイツ（東京都）

団地のやさしさ

盛夏に引越してきて間もなく
この場所を見つけました。
なんてやさしい団地なのでしょう!
夏草のそよぎの中にこのブランコで遊んだ
子どもたちの笑顔と歓声が甦ってきました。
現在は社会のあらゆる分野で
日本を支える存在でしょう。
やさしさがほのぼのとつたわってくる
小さいけれどいい風景です。



メッセージ賞

青木 智子 武蔵野緑町パークタウン（東京都）

一流ジョッキーになりたくて

一流ジョッキーになりたくて、
飯島団地のとある公園にやってきた。
華麗に馬にまたがろうとしたが、
馬の頭突きにあい撃沈。
思わず頭をかかえてしまう
一歳半の我が娘。



メッセージ賞

前田 美幸 飯島（神奈川県）



入選
夢のある給水塔 丹羽 明仁
岩倉（愛知県）

夢のある絵が描かれている団地の給水塔。以前は、無味乾燥なただのコンクリートの塔でしたが、一般公募による絵が描かれてからは、地域のシンボリックな存在となっています。



入選
藤娘 山本 愛子
中山五月台（兵庫県）

今年も見事に藤の花が咲いた。その美しさに誘われて藤棚のベンチに腰を下ろしてみる。只今、子育て奮闘中の遠隔に住う我が娘。藤の花にその娘（こ）への想いを重ね合わせる…何処からともなく優しい風が吹いて来て、藤の甘い香がこの身を包み込んだ。



入選
歴史ある風景 湯浅 真樹子
富田（大阪府）

建った当初は建物より小さかった樹木も、40年経った今では5階建ての建物を越す大きさにまで成長しました。そこに住んでいる人々と一緒に樹木も育ってきたのです。見上げた樹木はその風格から歴史を感じさせます。



入選
幸せなひととき 多和 裕二
浦安ニューシティ美浜西エステート（千葉県）

秋晴れの休日。愛ちゃんは、大好きなお爺ちゃんとおばあちゃんとお散歩です。お手手つないで嬉しさ120%の女の子が印象的でした。この光景を拝見しまして、ママ・パパの愛情にも包まれて健やかに育っている様子もうかがえ、元気で明るい子に成長することを祈らせて頂いた次第です。



入選
窓辺からの夕暮れ 岸 克
ライフタウン国領（東京都）

よく晴れた日の夕方には、リビングから団地越しにきれいな夕焼けと富士山のシルエットを望むことが出来ます。近傍に眺望を遮る建築物がなく、郊外の高層棟ならではの風景です。



入選
“ラッキー！” 秋山 美那
梨香台（千葉県）

我家のベランダ正面の棟、最上階階段の踊り場に人がいる、時に数人。皆が見る方をのぞきこむがわからない。同じ棟の人が、「見た？今朝の富士山。年明けてからずっとすごいねえ！」エーッ！スカイツリーと富士山、澄み渡る景観。その姿に会えた時は“ラッキー！”と心が叫ぶ。梨香台団地の素晴らしい特権。



入選
花と遊ぶ 山崎 雅克
男山（京都府）

団地下の芝生で良く遊ぶ姉妹が、クローバーの花を抜いて来て珍しそうに姉に渡そうとして、仲良く遊んでいる所です。この芝生広場は危なくないので安心して遊ばせる場所だそうです。



入選
稔りの秋 平野 昌子
えびな（神奈川県）

団地「えびな」は、厚木駅前にありながら、前には、美しい田んぼが広がっています。この写真は、その田んぼで行われた「かかし祭り」での一コマです。かかし祭りでは、地域の人たちが工夫に工夫を重ねたかかしがずらりと並び、今では秋の風物詩となっています。立地条件の良さに加え四季の変化も味わえる魅力的な団地です。

例えば、見る人が笑顔になれる、家族との絆を思い出せる。そんな笑顔のある暮らしや、緑豊かな環境、季節感あふれる風景…。団地ならではの魅力を、応募者それぞれの視点から、写真やスケッチに表現することで、団地に住まう人だけでなく、地域に暮らす人やいままです団地に注目してこなかった人にも、団地が持つ地域の財産としての価値を広く伝えることができます。「団地景観フォト&スケッチコンテスト2011」では、そんなコンテストの趣旨に沿い、写真や絵画の技術を評価するだけでなく、「ふれあい」「団地景観」「四季」というそれぞれの視点から、作品と作品に添えられたメッセージ、タイトルについて総合的に審査を行いました。

各部門の受賞作品の魅力、審査員の皆さんが評価したポイントなどを、審査後に行われた講評

●フォトコンテスト大賞
手伝いたい



千葉 学

小さいころ団地が近くにあり、友だちがたくさん住んでいたこともあって、よく遊びに行っていた思い出があります。そんな経験があったからか、審査をさせていただく中でも、団地だからこそ起きている出来事や、団地だからこそ



の視点、コミュニケーションなどに強くひかれて作品を選びました。私自身、建築に携わるなかで周囲から言

千葉 学氏

われ続けてきたことでもあるのですが、団地の外に住む人たちの中には、画一的だとか、コミュニケーションがないとか、団地を決まりきったイメージでとらえている人が多いと思います。ところが実際はそうではなくて、団地では実に豊かな生活が日々営まれている。考えてみれば、当たり前のことですが。この作品は、団地の清掃や、そこで働くおじさんとの交流を通じて、自分たちが住んでいるまちに関わっていくという感覚を子どもなりに感じているということが、よく伝わってくる写真でとてもいいと思います。

さかた しげゆき

確かに、人と人のつながりを感じさせる作品が多い中でも、大人と子どものつながりをよく見せてくれている作品ですね。後ろ姿で撮っているところもいい感じですし、お手伝いをしている様子にちょっとほっこりします。色味としても、芝生がきれいですし、全体的にすごくいい仕上がりになっているのではな



さかた しげゆき氏



松田 妙子氏

いでしょか。
松田 妙子
今、子どもたちが家族以外の大人に関わることはすごく少なくなっていますが、この作品のように街の中で見守ってくれたり、「だめ」と言わずに手伝いをさせてくれる大人がいるのはいいことだと思います。タイトルは「手伝いたい」ですが、この子たちは遊びでやっている。都会の遊び方の特徴ですよ。こんなことまで楽しんでしまう子どものパワーが感じられる作品だと思います。

本城 直季

私にも共感できる写真です。実際、小さなころに親に内緒で知らない人を手伝ったり、一緒に掃除をしたこともありまして…。最近、団地以外ではこういうコミュニケーションは生まれにくいかもしれません。こんな空間のある団地がうらやましいように思います。一枚の写真に物語があって、おじさんの、手伝ってほしいような、ほしくないような感じも表現され

ていて面白いと思います。

池邊 このみ

維持管理の取り組みがコミュニティに根付いている様子に光が当たったのは、4年目にしてはじめてのことで、2作品もあり、うれしいことです。子どもよりも少し大きいほどのパンパンに膨らんだ落ち葉の袋、後ろに見える白い住棟、手前の緑の広がりなど、団地らしい光景だと思います。揃えたように皆がブルーの服を着ているというのも、絵全体の色彩的にも効果的でした。

冬 sketch コンテスト大賞
冬の朝



千葉 学

何というか、本当に独特な雰囲気を持った作品ですね。見方によっては、どこにもないような風景にも見えるし、意外に馴染みのある風景にも見える。団地には、そういう印象があったことも思い出させてくれました。

見る人によっては、団地がとてつもなく大きなよくわからないものだったり、自分の生活を投影できる場だったり、どこか遠い世界のようにもあたりという、不思議な雰囲気が表現されていると思います。一つひとつのモチーフが極端にダイナミックに描かれていたり、デフォルメされていたり、



する一方で、生活のシーンには妙に臨場感が溢れていて、団地が持っているたくさんのイメージが一枚の絵に凝縮されている感じがしました。

さかた しげゆき

子どもの絵の持つすびみと同じようなものを、年を重ねた人が持っていることに気づかされました。ダイナミックな描写の中にそこで生活してきた経験を投影することで、高齢であればあるほど不思議な感じを出せるのかなとも思います。この作品も、実際に真真中に富士山が見えるのかどうか分かりませんが、その構図にまずひき込まれます。細かく描かれているごみ収集をしている人との落差もとても面白い。電線などは、ものすごく細く描いているのに、車が単純化されていたり、色が少しくすんでいる感じなのに妙に明るかったりと、見ていて楽しめる絵でした。

松田 妙子

暮らしの場所を描いた作品だと思います。団地



本城 直季氏

ならではの暮らしが見えますね。清掃車の描写にも、街の息づかいというか、街が生きている感じがあって面白かったです。奥に富士

山が見えるのもいいですね。ちょっとうらやましく思いました。

本城 直季

この一枚から朝の物語が始まって、ここから変わっていく予感がする。そんな、絵本の中の一枚の絵のように思いました。人々の暮らしが始まっていく、団地が動いていく、一日が始まるのが想像できる作品だと思います。



池邊 このみ氏

池邊 このみ

団地をつくる時のランドスケープ手法として「山あて」といってアイストップに山をあてるものがあります。この作品にもそんな団地らしい景観が描かれていて好感が持てました。メッセージにも、少女と清掃業者のやりとりがあっ

● フォトコンテスト最優秀賞
黎明



本城 直季

純粋に色がきれいですよね。メッセージに朝焼けとありますけど、この作者は夕焼けのシーンと夜のシーンも応募されていて、本当に早朝に撮っているのだなということがわかります。街はまだ寝静まっていて真っ暗で、この団地だけが浮き立っている。何も無いところに建っているように見えるけど、実は、街の一部になっている。すごく面白い作品だと思いました。



池邊 このみ

「黎明」という、最近では使わない美しい時間を表したタイトルがいいですね。峠から見える団地の美しさを宝物のように大事にしている様子が、朝と夜の両方に撮影していることからわかりますし、シルエットの美しさも団地の一つの魅力、遠景の団地の景観の重要さが実感できる作品だと思えます。



● スケッチコンテスト最優秀賞
みどりあふれる我が団地



池邊 このみ

作者はこの作品に描かれている団地に転居してきた方で、郊外に移ってきて健康になったとのこと。自分が健康になったことの幸せ感が、実際以上に花にあふれた空間と多彩な色彩で描かれています。花に囲まれた理想郷といえますか、本当にこんな素敵な団地に住みたいという作者の思いが感じられる作品だと思えます。

さかた しげゆき

非常に描き慣れた方の作品です。テクニックがしっかりしていますし、色味、特に緑がきれいだと思えます。こういうところに住みたいと思わせてくれますし、背景にすべり台が細かに描かれていることで、こういう緑に囲まれている公園などがあると楽しいと思わせてくれる。純粋に団地の魅力が伝わってきますし、それがテクニックに裏打ちされていて、文句なしという気がします。



● フォトコンテスト優秀賞
金木犀



本城 直季

主題である花と作品に添えられたメッセージ、その両方から作者の思いが伝わってくる作品だと思えます。金木犀の色を鮮やかに

描写することで、そんな思いがいつそう強く見えてくるのではないのでしょうか。

さかた しげゆき

すごくきれいで、単純に目をひかれましたし、孫が2歳の時の金木犀の下での思い出、そして、その孫がもう25歳だという時の流れを感じられるメッセージを読んで、さらに引き込まれました。

バレンタイン雪景色



千葉 学

人が一切写っていない作品で、主役は足跡や車の通った跡なのですが、団地で日々

繰り返されている生活や、団地に住んでいることの楽しさ、そこに流れている時間が凝縮されている感じがして感動しました。

例えば娘さんが学校に行く時の後ろ姿をお母さんはいつもここから見ていたのかなとか、逆に娘さんはいつも出かけにふと自分の家の方を振り返っていたりしたのかな、といった家族同士の温かい日常の見守りの風景が、この写真のアングルだけからでも伝わってきます。それに4階ぐらいの団地らしい高さから見ていると、雪の風景が地上の絵のように見えたりする、そういう感覚があるからこそ捉えられた光景だという気がします。

高校生ぐらいの娘さんが、日頃素直に言えない「ありがとう」という気持ちを込めて「スキ」と

書いたのかなとか、そういう、団地だからこそできるコミュニケーションが見る人に伝わってきますし、写真としても、画面中央の空白になっているところに足跡だけがあって、娘さんの動きが残像として残っている点も、印象的だと思います。

団地の盛春(せいしゅん)



松田 妙子

本当に、時を止めたように見える作品だと思えます。瞬間を切り取った音もない世界のように

見える。色もきれいだと思えます。咲いている花と葉が両方見られるのも素敵ですし、背景の団地も、おしゃれな感じがして面白かったです。

本城 直季

春の感じをすごくきれいに捉えていますし、普通は木のアップなどで表現しがちな季節感を、団地も含めた全体で表現できていると思えます。撮影した日は寒くて人が集まらなかったのかもしれませんが、もしかしたらこれから花見が始まるのかもしれない。そういうことが想像できる一枚だと思えます。

● スケッチコンテスト優秀賞

楽しや、今年も団地の盆踊り



さかた しげゆき

夏まつりの絵ですが、踊っている人が妙にリアルだったり、ちょうちんに書いてある

文字も、普通はここまで書かないだろうというくらい細かいところまで描いているのがいいですね。後ろにうっすらと見える群衆もよく見ると詳細に描かれていて、根気よく描いていらっしゃる感じが好印象でした。

子ども広場は楽しいな



さかた しげゆき

作者の年齢を見て、一番びっくりしたのがこの絵です。79歳の方が描いたとは思

えないほどポップな色づかいで本当に驚きました。子どもの動きの一つひとつがすごく不思議で面白くて、しかも活気が伝わってきて、見ていっただけでほっこりするような感じの絵になっています。壁に描いてあるライオンの絵も、人の絵とマッチしていい好印象でした。

老いも若きも



本城 直季

団地の街を舞台に、今から生活が始まるという躍動感がすごく

出ていると思えます。手前のおじいちゃんやおばあちゃんにも、団地に向かって行くという力強さのようなものがあって好感が持てます。一人ひとりの動きがはっきりしていて、そこで生活していることがよくわかる作品だと思えます。手前にガードレールがあることで、見ている人はまだ中に入っていないけれど、これから絵の中に入っていく。そんな感覚にさせてくれる作品だと思えます。躍動感があって引き込まれますよね。

● キッズ・ジュニア賞5作品

松田 妙子

写真も、スケッチも、どれも迫力があって、選ぶのに少々悩みました。上手に見せようとしていない、あまり狙って描いてないという点でも、子どもらしく自由に面白かったです。悩んだ末、「団地と川と船」、「夕ばえの空」の2作品を選ばせていただいたのですが、「団地と川と船」は、



団地と川と船



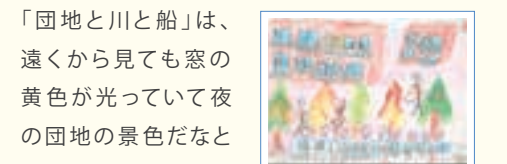
夕ばえの空

夜の明かりが灯っている描写から、家族やいろんな人が住んでいる場所だという印象を強く感じます。4歳でここまで表現できるのはすごいですね。

逆に、「夕ばえの空」の作者は14歳ということで、自分とは何かとか、いろいろなことを考える時期ならではの思いがあるのだろうと感じられます。メッセージに「建替え前」とありますから、この景色はもうない。そんな中で自分が生まれ育ったところを想ったの作品ですね。

さかた しげゆき

写真部門にもとてもいいものがあつたのですが、私自身が絵を描いていますので、やはり絵のほうに注目して見ていました。その中で、「ぼくのおきにいり」と「団地と川と船」の2つが気になったのですが、「ぼくのおきにいり」は、メッセージのところに「通称チョコマン(チョコレートマンション)」とあって、この子どもらしい説明にひかれました。絵そのものも、人が住んでいることの楽しさ、その周りで遊ぶことの楽しさが伝わってくるようで、すごく気に入りました。



ぼくのおきにいり

「団地と川と船」は、遠くから見ても窓の黄色が光っていて夜の団地の景色だなということがわかるし、近づいてよく見ると、船など周囲の様子が伝わってくる。アンテナなど細かなところもちゃんと見ているというのが印象的でした。

審査を終えて

千葉 学

生活の一コマを、実に多彩な視点で捉えた作品が多く、それが何よりもいいなと思いました。団地という



場ではさまざまな生活が繰り広げられていて、住んでいる人の数の分だけ思い出がある。そういう日常に対する鋭敏な感覚が作品の基盤にあるというのはとても素晴らしいことだと思います。特に、子どもたちの絵を見ると、子どもにはこういうふう建物が見えるんだとか、団地という大きな建物を見たときの感動とか、そういうことも伝わってきて…。何か特別な行事ではなく、むしろ日常にこそ豊かさがあると



いったものの見方が、自分自身の建築家としての視点を広げてくれた感じがしています。私も設計という立場で集合住宅に関わっていますが、これからの日本では、集まって住むことの楽しさや安心感がますます重要になってくると思います。いい集合住宅がたくさん建てられなければいけないと思いますし、人の集まり方が多様になる中で、団地という存在がその集まり方をうまく



サポートしていけるといいなと思います。建築だけではなく、ランドスケープや土木といった視点も含めた環境整備に期待しています。

さかた しげゆき

子どものころに団地に住んだことがあって、今でも団地が好きです。もちろん、当時は地域のコミュニケーションとか、そういうことは全然考えなかったのですが、今はコミュニケーションの感覚が変わってきていて、子どもを外で遊ばせられないといった考え方も増えてきている。そういう点をもう少し改善して、外でもっと遊べる環境になったらいいなと思います。今回審査させていただいた作品にも、団地それぞれに、お祭りや季節のイベントなどがあって、コミュニケーションを深めようとしているのだなと実感できました。そんなコミュニケーションが今後も続いて、よりよく暮らしていけるようになればいいなと思います。

松田 妙子

こんなにいっぱい見たことはないというほどの写真やスケッチを見せていただいて、私も写真が撮りたくなりました。写真にも絵にも、音や匂い、空気感といったものを伝えてくれる作品がたくさんあってとてもうれしく思いましたし、人の暮らしを切り取った作品もたくさんあって、URのキャッチフレーズではありませんが「人は、ふれあって育つ」ということが実感できました。子どもはもちろん、大人にもふれあいは必要ですし、団地からは、クールだけどいい距離感で新しい関係性のようなものが生まれているのかなと思います。昨年の震災以降、「絆」という言葉が目立っていますが、団地は、若い人の支え合いたいという気持ちを助けてくれる。そこに建っている



だけで、近所を巻き込みながら、支え合う関係をつくってくれるような場所なのだと改めて思いました。

本城 直季

私も団地が好きなので、審査であるにも関わらず本当に楽しめましたし、一枚一枚の作品に本当に作者の思い入れがあるのだなと感じられました。つついメッセージもじっくり読んでしまっても時間かかりましたが面白かったです。スケッチも、どれが大賞になってもおかしくないと思えるクオリティでしたし、自分たちが住んでいる団地への想いが表されていて、よい作品ばかりだったのではないのでしょうか。私は、団地には緑が大事だと思っていますし、完成してから何年か経ってからようやく住みやすさとか、団地独自のカタチが見えてくるのだろうと考えています。以前にフランスの集合住宅を取材したことがあって、「フランスが間違えたコミュニティのつくり方」という雑誌の特集だったのですが、団地が外部とコミュニケーションできないような設計だったために孤立してしまったという記事でした。立ち寄り人もおらず団地から外出する人もいないと、街はどんどんすたれていってしまう事例なのだと思います。ですから、プライバシーを確保した上で、人が流れる空間をつ



くっていかないといけないのかなと思いました。

池邊 このみ

私は、講演などで、「景観はコミュニティの心を映す鏡」というフレーズを使用をしているのですが、まさに今回の作品でも、景観のもつそうした側面が感じられました。団地の温かさが景観ににじみ出ていると思いますし、そんな温かいコミュニティが美しい空間になっている団地を住民の方のみならず、近隣の方にも感じていただきたいと思います。

UR都市機構が歴史

の中で発信してきたライフスタイルは、例えば我が国でまだなじ



みの薄かった洋風トイレをいち早く導入するなど、他にない先進的なものもありました。これから先は、新しいものをつくることは少ないかもしれませんが、古いものを再生していく中でたとえば東雲のような新しいライフスタイル創造で再生を考えるとといったことにトライしていただきたいと思います。

応募作品に描かれた団地の美しさをより多くの方と共有できれば、団地は素敵だなと人々に思っただけですすし、新たな団地の魅力を引き出すこともできます。団地の良さ、集まって住むということの安心感といったものを若い世代に伝えていくことも、URの役割として大事なことでと思います。



審査員プロフィール

千葉 学氏

東京大学大学院准教授 建築家

1960年東京都生まれ。85年東京大学工学部建築学科卒業。87年同大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了。株式会社日本設計、ファクターエヌ共同主宰を経て、01年千葉学建築計画事務所設立。09'10スイス連邦工科大学客員教授。現在、東京大学大学院准教授、早稲田大学芸術学校非常勤講師、日本女子大学家政学部住居学科非常勤講師。2007年度日本建築家協会賞、2009年日本建築学会賞(作品)ほか多数受賞。主な著書に「窓のある家」「rule of the site そこにしかない形式」など。



本城 直季氏

写真家

東京生まれ。東京工芸大学大学院芸術学研究科メディアアート専攻修了。4×5判カメラを使用して人物や風景などをミニチュアのように撮影する独特のスタイルを確立する。写真集『small planet』で第32回木村委兵衛賞を受賞。作品はメトロポリタン美術館やヒューストン美術館にコレクションされている。作品集に『ここからはじまるまち Scripted Las Vegas』、『TRESURE BOX』(講談社)がある。



松田 妙子氏

NPO法人せたがや子育てネット代表理事
NPO法人子育てひろば全国連絡協議会 理事

1969年東京都渋谷区生まれ。社会福祉学科卒業後、青山・こどもの城に勤務。夫の転勤に伴い三重県津市で子育てをはじめ。平成12年東京都世田谷区にて地域に根ざした産前・産後の相互支援活動を目指し、子育て支援グループamigoを立ち上げる。「NPO法人せたがや子育てネット」代表理事として、子育て支援ネットワークに取り組む。UR都市機構と協働で「団地内での立ち話を増やそう」と、芦花公園団地でのキッズスペースぶりっじ@rokaを運営



さかた しげゆき氏

イラストレーター

1973年神奈川県生まれ、京都市育ち。京都造形芸術大学芸術学部情報デザイン学科卒業。広告制作会社を経て1997年よりフリーイラストレーターとして独立。広告、書籍、雑誌等で活動中。著書に「六本そでのセーター」(令文ヒロ子・作)「もしも原子が見えたなら」(板倉聖宣・作)がある。東京イラストレーターズソサエティ会員。



池邊 このみ氏

ランドスケーププランナー

1957年東京都新宿生まれ。千葉大学大学院園芸学専攻 教授 博士(学術)。千葉大学大学院修了後、住信基礎研究所、ニッセイ基礎研究所に勤務。2010年3月まで3カ年、UR都市再生機構、都市デザインチームリーダー(兼務)を務める。千葉県景観審議会副委員長他、港区、板橋区、町田市等で景観審議会委員、国土交通省都市景観大賞、港区景観街づくり賞等の審査委員等を務める。



全国団地景観サミット 2011

UR賃貸住宅「団地景観フォト&スケッチコンテスト」の概要

【開催概要】

全国団地景観サミットにおける「団地景観フォト&スケッチコンテスト」は、UR賃貸住宅のある全国の団地について、団地に関心をお持ちの皆様がその魅力を表現していただき、それをより多くの方々にお伝えすることを目的として開催し、今年で4年目を迎えました。

2011年の全国団地景観サミットのテーマ「人と人をつなぐ団地—そこにある風景—」は、団地ならではのふれあい、コミュニティの素晴らしさを、団地や地域にお住まいの方々に作品を通じてお伝えいただきたいという思いから設定しました。コンテスト応募作品は、全国に1700以上あるUR賃貸住宅団地を題材とした写真又はスケッチとし、皆様の団地景観に対する想いを、タイトルとメッセージで表現していただきました。

【審査結果】

合計で366名の皆様から、683作品のご応募をいただきました。この中から、厳正なる審査のうえ54点の入賞作品を選出いたしました。入賞作品の内訳は、大賞2点、最優秀賞2点、優秀賞6点、審査員賞5点、キッズ・ジュニア賞5点、ふれあい賞6点、季節賞6点、団地景観賞6点、メッセージ賞8点、入選8点です。審査評価においては、写真やスケッチのクオリティだけでなく、作品のタイトル及びメッセージについても評価対象とし、総合的に評価させていただきました。

【スケジュール】

- 2011年 6月30日
全国団地景観サミット2011開催発表
- 2011年 10月10日～1月10日
作品応募受付期間
- 2012年 2月16日～2月24日
応募作品の審査を実施
- 2012年 4月4日
審査結果発表

最後に、本コンテストの実施につきまして、ご協力いただいた皆様及び応募者の皆様に、深くお礼申し上げます。

発行 独立行政法人都市再生機構 技術調査室 都市再生設計チーム
〒231-8315 横浜市中区本町6-50-1 横浜アイランドタワー9階

企画 独立行政法人都市再生機構 技術調査室 都市再生設計チーム 里見達也 佐藤勝紀 三浦友美

製作 株式会社URリンクージ 都市・居住本部 企画設計部

2012年 5月発行

<http://www.ur-net.go.jp/urbandesign/>